

算数科学習指導案

日 時 平成 24 年 10 月 10 日 (水) 公開授業 I
 児 童 1 , 2 組 男 7 名
 授業者 (T1) (T2)

1 単元名 「正しくお金をしはらおう」

2 単元について

(1) 教材観

特別支援学校小学部学習指導要領の算数科の目標は「具体的な操作などを通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。」である。また、金銭に関する実務について「必要に応じて生活科の指導内容との関連を図り、算数科で取り上げて指導することも大切である。」と明記されている(総則)。これらのことから、具体的な操作活動を通して理解したことを、日常生活に活用する態度を育てることが大切である。

日常生活や学校生活においては、おこづかいでおやつを買ったり、調理実習の材料を買いに行ったりする機会がある。また、お店や自動販売機には児童の欲しいものがたくさんあり、買い物の学習は児童が興味や関心を持ちやすく、より身近なものである。

そこで、欲しい物を手に入れるには、お金が必要であること、品物とお金の交換があつて初めて品物を手に入れることができること、品物には決まった値段があることなどに気づかせ、その値段を見て正しくお金を支払うことを実践的な活動を通して理解させていく必要がある。

本教材では、金銭についての指導項目を整理し、児童一人一人の実態に合ったステップでこれらの力をつけることをねらいとしている。そして、自分の好きなものやニーズにあったものを手にすることができるという喜びを得るとともに、将来自立した豊かな生活を送るために、適切に買い物ができる技能を身に付けるスモールステップの重要な導入段階としたい。

(2) 児童観

本校の特別支援学級は、知的障がい学級(白ゆり1組)に2年、3年、4年、6年男子各1名(3年、4年の児童は今年度8月末に転入)、自閉症・情緒障がい学級(白ゆり2組)に1年、2年、3年男子各1名の児童が在籍している。児童は同じ学級で一緒に学校生活を過ごす仲間であるという意識があり、独自のルールを作った遊びを通し共同生活を楽しんでいる。その一方で、個々のこだわりや強さも様々で、関わり合いが上手にできない児童や、他人に見られることで学習に集中できない児童もいる。

授業スタイルは、それぞれ異学年集団であるため、通常は国語、算数を中心に一人一人の実態に合わせた課題を設定し、個別に取り組んでいる。また、国語、算数以外の教科においては、できる範囲で交流学級の学習に参加している。

お金の学習については、1学期に前単元の「正しくお金をかぞえよう」の一連の活動を一斉課題で行った。児童の実態には大きく幅があるので、一斉指導の内容をみんなが目撃して聞くことができるような工夫をはかりながら、個人のねらいに即した学習活動を取り入れ、指導にあたってきた。「金銭」についての児童の実態は、以下の通りである。

「金銭」についての児童の実態		A	B	C	D	E
金種の弁別	1円	○	○	○	○	○
	5円	○	○	○	○	○
	10円	○	○	○	○	○
	50円	○	○	○	○	●
	100円	○	○	○	○	○
	500円	○	○	○	○	●
	1000円	○	○	●	●	●
単一金種の合計	1円	○	○	○	○	○
	10円	○	○	△	△	△
	100円	○	○	△	△	●
複数金種の合計(5円, 50円不使用)		○	○	△	△	●
複数金種の合計(5円, 50円使用)		△	○	●	●	●
金額の概算		●	●	●	●	●

○…自分でできる △…支援があればできる ●…難しい

(3) 指導観

指導にあたっては、生活単元学習の指導内容との関連を図り、学習のまとめとして実際に買い物学習に行くという意欲付けをしながら、金銭学習に興味をもたせ活動させたいと考えている。お金の扱いは、具体的な実際の経験を通じて学習することが最も効果的であるので、できるだけ多くの機会がもてるようにしたい。そのために、買い物の経験が少ない児童には、買い物ごっこなどの学習の経験を積み重ねさせていきたい。

また、児童の活動の支援として教材教具を工夫していく。言葉での指示が理解しにくい児童には拡大写真を提示するなど、視覚から情報を与えていきたい。さらに、金額が数えられない児童には、金種別の弁別箱やお金シートなどを利用し、自分の力でお金を揃えさせるようにする。この「お金を揃え、支払う」学習を通し、日常生活の中での新しい発見や実際に買い物や食事ができる喜びを味わわせたい。併せて、お金を大切に扱うという気持ちも育てていきたい。さらに、学習をふり返り、感想を話したり、気持ちを伝えたりする学習を繰り返していくことで話し方のスキルアップを目指していきたい。

3 単元の目標

- ◎ 金額通り正しくお金を支払うことができる。
- 実際の買い物学習に向けて、意欲を持って学習に取り組むことができる。
- お金の価値を知り、大切に扱うことができる。

4 単元の指導計画

児童A（6年）・B（3年）

時	ねらい	学習活動	評価
1	各硬貨間及び硬貨、紙幣間の等価関係を理解することができる。	10円を1円、100円を10円、1000円を100円の硬貨に両替する。（逆も行う）	等価関係を理解し、両替ができる。
2		5円を1円、50円を10円、500円を100円の硬貨に両替する。（逆も行う）	
3	硬貨及び、紙幣（1000円紙幣）が各種混じった中で、正しく合計金額を揃えることができる。	1円、5円、10円、50円、100円、500円の3種類以上の自由な組み合わせで金額を揃えることができる。	3種類以上の硬貨及び紙幣を使い金額通りに揃えることができる。
4		硬貨や紙幣（1000円）を一緒にして4桁の金額を揃えることができる。	
5	概数の意味を知るとともに、1円、10円、100円単位をそれぞれ切り上げて10円、100円、1000円単位の金額にすることができる。	1円単位の金額を切り上げて、10円単位の金額にする。	概算し、出して間に合う金額を揃えることができる。
6		10円単位の金額を切り上げて、100円単位の金額にする。	
7		100円単位の金額を切り上げて、1000円単位の金額にする。	
8	おつりを伴う正しいお金の支払いができる。	おつりを伴う買い物の事例を知るとともに、おつりを求める式を知る。	概算し、出して間に合う金額を出し、おつりをもらう。
9		1つの硬貨を出しておつりをもらう。（例：80円は100円）	
10 本時		2つ以上の硬貨を出しておつりをもらう。（例：15円は20円）	
11	買い物ごっこをし、正しいお金の支払いができる。	品物の代金とお金の対応をし、正しく支払いをする。	おつりを伴う正しい支払いができる。
12	買い物（食事）に出かけ、正しく支払いができる。	財布から過不足なく代金を支払うことができる。	正しく支払いができる。
13			

児童C（2年）・児童D（2年）

時	ねらい	学習内容	評価		
1	各硬貨間の等価関係を理解することができる。	10円を1円，100円を10円の硬貨に両替する。（逆も行う）	等価関係を理解し，両替ができる。		
2		5円を1円，50円を10円，（500円を100円）の硬貨に両替する。（逆も行う）			
3	硬貨が各種混じった中で，正しく金額を揃えることができる。	1円，5円，10円の3種類の組合わせで金額を揃える。	3種類の硬貨の組合わせで，金額を揃えることができる。		
4		1円，50円，100円の3種類の組合わせで金額を揃える。			
5		1円，5円，10円，50円の4種類の自由な組合わせで，金額を揃える。	指定された金額の自由な組合わせで金額を揃えることができる。 （5円，50円を使用しながら）		
6					
7		1円，5円，10円，50円，100円の5種類の自由な組合わせで金額を揃える。			
8					
9		1円，5円，10円，50円，100円，（500円）の自由な組合わせで金額を揃える。			
10 本時					
11		買い物ごっこをし，正しいお金の支払いができる。		品物の代金とお金の対応をし，正しく支払いをする。	ちょうど金額を支払うことができる。
12		買い物（食事）に出かけ，正しく支払いができる。		財布から過不足なく代金を支払うことができる。	正しく支払いができる。
13					

児童E（1年）

時	ねらい	学習内容	評価
1	各硬貨間の等価関係を理解することができる。	10円を1円，100円を10円の硬貨に両替する。（逆も行う）	等価関係を理解し両替ができる。
2		5円を1円，50円を10円の硬貨に両替する。（逆も行う）	
3	1円，10円，100円の単一硬貨を使っての金額を揃えることができる。	各単一硬貨10枚までの金額を揃えることができる。	単一硬貨の金額を揃えることができる。
4	硬貨が各種混じった中で，正しく金額を揃えることができる。	1円，10円，100円の3種類の自由な組み合わせで金額を揃える。	指定された金種の組み合わせで金額を揃えることができる。（5円，50円を使用しながら）
5		1円，5円の組み合わせで金額を揃える。	
6		1円，5円，10円の組み合わせで金額を揃える。	
7		1円，10円，50円の組み合わせで金額を揃える。	
8		10円，50円，100円の組み合わせで金額を揃える。	
9		1円，5円，10円，50円，100円の組み合わせで金額を揃える。	
10 本時			
11	買い物ごっこをし，正しいお金の支払いができる。	品物の代金とお金の対応をし，正しく支払いをする。	ちょうどの金額を支払うことができる。
12	買い物（食事）に出かけ，正しく支払いができる。	財布から過不足なく代金を支払うことができる。	正しく支払いができる。
13			

5 他教科との関連

生活単元学習…買い物学習

6 本時の指導

(1) 指導について

本時は、品物の代金やそれに伴うお金の出し方を、児童それぞれの実態に合わせて対応できるように配慮している。また、金額を揃える前の段階である硬貨の弁別、硬貨と数の対応、等価関係など、基礎的な事項も大切に扱い、つまずきがあれば個別に取り上げて指導していく。

1時間の学習活動を、①へんしん（1円10枚を10円になど）、②そろえる、③はらう④はっぴょうの4つの段階に分け、授業の始まりで確認し学習の見通しを持たせる。そして、一つの段階ごとにがんばりを評価していく。まとめの段階では、楽しかったこと、がんばったことなどを発表させ、成就感へつなげていきたい。

(2) 目標

<全体の目標>

- ◎ 財布から正しくお金を支払うことができる。
- 学習活動の感想を自分なりに話すことができる。

<個人の目標>

児童	目標	教材・教具
A 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の値段に間に合う金額を見積もる。 ・見積もった金額で支払ったときのおつりを計算し、支払うことができる。 <p>*指示された内容を理解し、自分で学習活動を進めることができる。</p>	概算支援シート 両替シート 電気計算機
B 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の値段に間に合う金額を見積もる。 ・見積もった金額で支払ったときのおつりを計算し、支払うことができる。 <p>*指示された内容を理解し、自分で学習活動を進めることができる。</p>	概算支援シート 両替シート 電気計算機
C 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の値段とお金を一致させ、支払うことができる。 (5円, 50円を使用する) <p>*指示を聞いて、自分の課題に取り組むことができる。</p>	両替シート お金シート (金種弁別箱)
D 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の値段とお金を一致させ、支払うことができる。 (5円, 50円を使用する) <p>*話をよく聞き、指示通りに活動することができる。</p>	両替シート お金シート (金種弁別箱)
E 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の値段とお金を一致させ、支払うことができる。 (5円, 50円は一部使用する) <p>*集中して自分の課題に取り組むことができる。</p>	金種弁別箱 お金シート 両替シート

*は「個別の指導計画」の内容から

(3) 展開

児童A・B (T2中心)

段階	学習内容	学習活動と指導上の留意点		教材教具
		児童A	児童B	
導入 5分	1 本時の学習の流れを確認する。	○1時間の学習の流れを理解する。(T1) ・学習内容順に写真を貼りだし、見通しを持たせる。 ・全員が注目して指示を聞くよう指示マークを出す。		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動確認シート ・金種拡大写真 ・金種弁別箱 ・両替シート ・指示マーク
	2 金種の確認をする。	○拡大写真を見て金種を答える。(T1) ・一斉に答えさせるが答えていない児童には個別に質問する。		
3 等価交換する。	○1円と10円, 10円と100円, 100円と1000円, 1円と5円, 10円と50円, 100円と500円の等価交換を確認する。(T1) ・一人一人クイズ形式で出題し意欲を持たせる。 ・友達の発表をよく聞くよう指示マークを出す。 ・学習に必要な道具は一人分をかごにまとめておき, 所定の場所に取りに行かせる。			
展開 30分	4 金額に間に合うお金を揃える。	○金額に間に合うお金を揃え, おつりの金額を求める。(T2) 例1: 15円を20円で支払い5円のおつりをもらう。 例2: 270円を300円で支払い30円のおつりをもらう。 ・様々なお金の出しかたを認める。 ・課題が終わったら「終わりました。」と言わせる。 ・問題を多めに準備しておき, 他の児童の進度に合わせて出題していく。	○金額に間に合うお金を揃え, おつりの金額を求める。(T2) 例1: 15円を20円で支払い5円のおつりをもらう。 例2: 270円を300円で支払い30円のおつりをもらう。 ・様々なお金の出し方を認める。 ・課題が終わったら「終わりました。」を言わせたい。言えない時はT1とT2で連携し必ずT1が確認に行く。 ・問題を多めに準備しておき他の児童の進度に合わせて出題していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・金種弁別箱 ・お金シート ・金額カード ・両替シート
	5 値札を見て, 価格に間に合うお金を支払う。	○価格に間に合うお金を財布から出して支払い, おつりと商品を受け取る。(T1, T2) ・財布には, ちょうどで支払いができない金額を準備しておく。 ・支払いの時は並んで待つことや, 空いている方に行くことを話しておく。	○価格に間に合うお金を財布から出して支払い, おつりと商品を受け取る。(T1, T2) ・財布には, ちょうどで支払いができない金額を準備しておく。 ・支払いの時は並んで待つことや, 空いている方に行くことを話しておく。 ・環境の変化に対応できないことを考え, ついたてを置くなど場の設定を考えておく。	
まとめ 10分	6 学習のふり返りをする。	○自分がかんばったこと, 楽しかったことや友達のがんばりを発表する。 ・必要に応じて, 発表支援カードを提示する。 ・教師がかんばりを紹介し, 成就感を持たせる。(T2)	○かんばったか, 楽しかったかを意思表示する。 ・話すことができないときは, 質問への挙手で気持ちを伝えさせる。 ・教師がかんばりを紹介し, 成就感を持たせる。(T2)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表支援カード
		○全体のかんばりを評価し, 買い物学習本番に一步近づいたことを話し, まとめる。(T1)		

児童C・D・E（T1中心）

段階	学習内容	学習活動と指導上の留意点			教材教具
		児童C	児童D	児童E	
導入 5分	1 本時の学習の流れを確認する。	○1時間の学習の流れを理解する。(T1) ・学習内容順に写真を貼りだし、見通しを持たせる。 ・全員が目指して指示を聞くよう指示マークを出す。			・学習活動確認シート ・金種拡大写真 ・金種弁別箱 ・両替シート ・指示マーク
	2 金種の確認をする。	○拡大写真を見て金種を答える。(T1) ・一斉に答えさせるが、答えていない児童には個別に質問する。			
	3 等価交換する。	○1円と10円, 10円と100円, 100円と1000円, 1円と5円, 10円と50円, 100円と500円の等価交換を確認する。(T1) ・一人一人クイズ形式で出題し意欲を持たせる。 ・友達の発表をよく聞くよう指示マークを出す。 ・学習に必要な道具は一人分をかごにまとめておき, 所定の場所に取りに行かせる。			
展開 30分	4 金額通りのお金を揃える	○5円, 50円を使用し, 金額ちようどのお金を揃える。 例1: 15円(10円1枚, 5円1枚) 例2: 70円(50円1枚, 10円2枚) ・5円, 50円未使用の場合も認め, 使用した場合の揃え方を両替シートを使い確認する。 ・課題が終わったら「終わりました。」と言わせる。 ・問題を多めに準備しておき, 他の児童の進度に合わせて出題していく。 ・課題に集中して取り組めるように, 指示マークなどを使い, 声がけしていく。	○金額ちようどのお金を揃える。 例1: 15円(10円1枚, 1円5枚) 例2: 52円(50円1枚, 1円2枚) ・5円, 50円が使えることを確認する。	・金種弁別箱 ・お金シート ・金額カード ・両替シート	
	5 価格を見て, 価格通りにお金を支払う。	○価格通りのお金を財布から出して支払い, 商品を受け取る。(T1, T2) ・財布には5円, 50円を必ず使用する金種を準備しておく。 ・支払いの時は並んで待つことや, 空いている方に行くことを話しておく。 ・きまったコーナーから商品を選ぶように声がけする。	○自分ががんばったこと, 楽しかったことを簡単に発表する。 ・財布には, 必要な金額を金種分けし, 準備しておく。		・財布(お金入り) ・商品カード
まとめ 10分	6 学習のふり返りをする。	○自分ががんばったこと, 楽しかったことや友達のがんばりを簡単に発表する。 ・必要に応じて発表支援カードを提示する。 ・教師が一人一人のがんばりを紹介し, 成就感を持たせる。(T2) ○全体のがんばりを評価し, 買い物学習本番に一步近づいたことを話し, まとめる。(T1)	○自分ががんばったこと, 楽しかったことを簡単に発表する。	・発表支援カード	

(4) 評価

- ◎ 財布から正しくお金を支払うことができたか。
- 学習活動の感想を自分なりに話すことができたか。